#### オミクロン株に備えた対策 ~年末年始の感染拡大を抑え込む~

令和3年12月22日 東京都危機管理対策会議

#### 目次

1.	検査体制の拡充・検査無料化	•	•	•	P 1
2.	宿泊療養施設・医療提供体制	•	•	•	P 2
3.	酸素・医療提供ステーション等	•	•	•	P 4
4.	自宅療養体制	•	•	•	P 5
<b>5.</b>	保健所業務の軽減・体制強化	•	•	•	P 6
6.	ワクチンの追加接種	•	•	•	P 7
7.	相談体制	•	•	•	P 8
8.	都民・事業者への協力依頼	•	•	•	P11
9.	広報・情報発信	•	•	•	P15
10.	中小企業の取組に対する支援	•	•	•	P16
11.	学校の対応	•	•	•	P17

### 検査体制の拡充・検査無料化

- ✓ 行政検査体制の拡充を医療機関等に要請(12/3要請済) (最大10万件/日)
- ✓ 健康上の理由や12歳未満でワクチンを接種できない 方が、無料で検査を受けられる取組を開始(12/23~)

感染拡大時には、この無料検査の体制を活用し、感染拡大防止を図る

### 宿泊療養施設・医療提供体制

#### 宿泊療養施設

✓ 受入居室数をさらに積み上げ

約3,400室 (レベル2相当)



約4,760室(年明け) 《約4,200室(年内)》



#### 医療提供体制

✓ オミクロン株特別対応として、計画より 早い感染状況で病床確保レベルを引き上げ



# 医療提供体制(オミクロン株特別対応)

#### 病床確保 レベル1

確保病床数 4,000床

> うち 重症者用 300床

新規陽性者 500人以上 (7日間平均) または 増加比概ね 120%以上が 2週間継続

# 病床確保レベル2

確保病床数 5,000床

> うち 重症者用 350床

新規陽性者 700人以上 (7日間平均) または 増加比概ね 120%以上が 2週間継続

#### 病床確保 レベル3

確保病床数 6,891<sub>床</sub>

> うち 重症者用 510床



#### オミクロン株 特別対応

オミクロン株新規陽性者の7日間平均が概ね100人以上※ または

増加比概ね300%以上が2週間継続



※ 推計値により算定

## 酸素・医療提供ステーション等

#### 入院待機ステーション

✓ 病床確保レベル3に引き上げられた場合、すぐに開所 

酸素・医療提供ステーション

**√ 酸素・医療提供ステーション[施設型] 約 150床 ( 感染拡大時 600床** )

《旧赤羽中央総合病院:10床(人工透析用)、都民の城:48床、築地デポ:38床等》

《 荏原病院・豊島病院:40床、多摩南部地域病院・多摩北部医療センター:20床》

## 自宅療養体制

- ✓ 発熱相談センターの体制強化(70回線→100回線に拡大)
- ✓ 自宅療養者フォローアップセンターの体制強化 (150名体制→250名体制<sup>※</sup>) ※更なる増員を検討
- ✓ 医療機関による健康観察の促進 (12/20~協力医療機関の募集開始)



- √ 往診等を広域的に行う医療機関による往診体制を強化
- **✓ 都内全域において、オンライン診療を開始(12/23~)**
- ✓ 経口薬の提供体制の確立(取扱薬局約1,300か所で開始)

### 保健所業務の軽減・体制強化

- ✓ 保健所の積極的疫学調査を幅広く実施するほか、 今後の感染拡大への備えのため人材確保を前倒し
- ✓ 保健所を通さず、宿泊療養を希望する患者が 直接申し込む体制を強化、広報を展開
- ✓ 健康観察の進捗の見える化やチャットボット、 ウエアラブル端末による健康観察を先行実施



### ワクチンの追加接種について

- 前倒しの対応の方向性
- ✓ 医療従事者及び高齢者施設入所者・従事者
  - → 区市町村が中心となって対応

(令和3年12月~)

- ✓ 高齢者施設入所者以外の高齢者
  - → 区市町村が可能な範囲で順次対応

(令和4年1月~)

- ✓ 警察・消防関係者
  - → 都の大規模接種施設で対応

(令和4年2月~)

### 年末年始の相談体制

- ✓ 新型コロナ・オミクロン株コールセンター☎ 0570-550-571 (9時から22時まで、±・日・祝日を含む毎日)
- ✓ 東京都発熱相談センター☎ 03-5320-4592 (24時間、±・日・祝日を含む毎日)
- ✓ 東京都中和抗体薬治療コールセンター
   ☎ 03-5320-5909 (9時から17時まで、±・日・祝日を含む毎日)
- ✓ 東京都宿泊療養申込窓口
   ☎ 03-5320-5997 (9時から16時まで、±・日・祝日を含む毎日)

# コロナ後遺症相談窓口について

区分				病院	連絡先
都	立	病	院	大塚病院	03-3941-3211(代表)
				駒 込 病 院	080-5933-4582(直通)
				墨東病院	03-3633-6151(代表) ※予約制
				多摩総合医療センター	042-312-9163(直通)
公	社	病		東部地域病院	03-5682-5111(代表)
			院	多摩南部地域病院	042-338-5111(代表)
				大 久 保 病 院	03-5273-7711(代表)
				多摩北部医療センター	042-306-3161(直通)

#### 年末年始の女性の方への相談体制

- 暮らしの中で様々な悩みを抱える方
- 仕事や住まいを失った方
- 家に居場所がない未成年等の方
- 生きづらさを抱える方

各相談窓口の連絡先、受付時間等はHPに掲載

東京都 女性への相談体制





#### 都民の皆様へ

✓ マスク着用等、基本的な感染防止対策の 更なる徹底を



✓ 年末のイベント、初詣や初売りなどは、 混雑する場所や時間を避けて



- ✓ クリスマスパーティー・忘年会・新年会は こまめな換気を
- ✓ 体調不良時は速やかに受診し人との接触は控えて

#### 企業などの皆様へ

- ✓ 年末年始を機に、休暇の分散取得や 休暇取得しやすい環境づくりを
- ✓ 仕事をする場合は、テレワークや時差通勤等 人と人との接触機会の低減を









### 飲食店の皆様へ

✓ 認証店・非認証店

認証店

- ・令和3年12月1日から、令和4年1月16日までは、同一グループの同一テーブルへの入店案内を8人以内に、9人以上の場合「TOKYOワクション」等の活用を
- ・認証基準を適切に遵守して営業を

非認証店

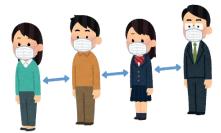
- ・ 同一グループの同一テーブルへの入店案内を4人以内に
- ・ 酒類提供、持込は11時から21時の間に
- ✓ 点検・認証済店舗の感染防止対策を オンラインにより順次確認。 改めて対策の徹底を
- ✓ 非認証店は、都職員が直接訪問し 協力をお願い。是非点検を受けて





#### 商業・集客施設等の皆様へ

- ✓ 利用者同士の距離確保等の徹底を
- ✓ 入場整理等を実施していただくため 都職員が直接訪問
- √ イベント主催者には、来場者へ基本的な感染防止対策の徹底やワクション活用等の呼びかけるなど安全・安心な開催を





### 広報・情報発信

- ✓ 都職員による繁華街での呼びかけや 広報車による注意喚起を実施
- ✓ 区市町村でも防災無線を活用した呼びかけ
- ✓ SNSやテレビCM等で、積極的に発信





# 中小企業の取組に対する支援

- 店舗等の感染防止の取組への助成を拡充
  - ✓ 既に支援を受けていても2回目の申請が可能
  - ✓ 消耗品の購入支援は、複数の会社の共同申請に加え、
    1社での申請も可能
  - ✓ コロナ対策リーダー設置店舗の支援上限額を 10万円に引上げ
  - ✔ 換気設備の導入 上限200万円

## 学校の対応

✓ 保護者の皆さんは、家庭での お子さんの健康観察を十分に行い、 体調不良時は受診



- ✓ 休み中もマスク、手洗い、換気等の 基本的な感染症対策を徹底
- ✓ 冬休みを利用して、 ワクチン接種の検討を

